

大学名 新潟大学

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題

学ぶ目的を意識して学生自らデザインするオーダー・メイド型マイナー・プログラム



工学部2年生 山岸芽生さん

「分野横断デザイン」を履修したきっかけは？

小学生のころに見たドキュメンタリー番組がきっかけで、国連に興味を持ちました。国連に関わっている事例を見聞きするうちに途上国の現状を知り、関心を持ち続けていました。メジャーは工学部に進みましたが、途上国の問題について、大学時代に何をどう学んだらよいかを整理したくて「分野横断デザイン」を履修しました。

「分野横断デザイン」は どうでしたか？

自分のやりたいことや得意なことを考える機会になりました。数学が得意で、情報システムを開発することに興味があるなら、それを途上国の課題解決に利用したらいい。そう考えて、ICT技術を活用した教育システムを構築することを目標とするマイナー学修計画を立てることができました。

本学は本格的なメジャー・マイナー制の大学となりつつある。令和4年度の時点では38の学位プログラムに加えて、既に42のマイナー・プログラムが走っている。特に新しい学びとして紹介したいのは、10学部を擁する大規模総合大学である本学の特性を活かし、令和3年度から開始した「学修創生型マイナー」である。これを履修する学生は、自分の目指す進路や問題意識、興味・関心に即して、本学が開講している数千科目の中から必要な科目を選択することにより、自分だけのオリジナルなマイナー・プログラムをデザインすることができる。これは海外にも例のない非常にユニークな学び方である。

では膨大な科目群からどのようにして科目を選択するのだろうか。学生はまず「分野横断デザイン」という科目を履修する。そこでは学生自身が自らの学びをデザインするために必要な科目に関する知識や科目の組み合わせ方を教員やクラスメイトと共に学びあう。シラバスも有効な教材として使いながら、各授業科目が何を狙ってどのように内容構成されているのか理解を進めてゆく。そして主に自由選択の単位枠を使って科目選択をデザインするのである。授業外においても、アカデミック・アドバイザーが対応しており、メジャーとマイナーの効果的な組み合わせ方など様々な相談が可能だ。

これまでの取組で実際に学生が構成したプログラムのタイトルの一部を表にしたのでご覧いただきたい。今までになかった学生独自の主体的な学びを実現できていることがご理解いただけると思う。

本学では平成17年度から副専攻制度を敷いていた。初年次には副専攻への関心が高く500名前後の学生が入門科目を履修するが、卒業時には1割程度に減少していた。これを改革するための構想が「知識集約型社会を支える人材育成事業」に採択された。履修のハードルを下げるため卒業要件単位の中で修得可能にすること、学生が興味をもって自主的に学べる仕組みとすることに注力した。学修創生型マイナーのほか、既存の科目リストから選択するマイナー・プログラムも数多く揃えてある。第4期中期目標・中期計画の終わりには毎年度入学者の4分の1、大学全体では2500人を超える規模となるようマイナー履修者を増やす。

学生がデザインしたマイナー・プログラムのタイトル

- ・社会的弱者のための心理サポート実践(人文学部)
- ・行政業務とデータ活用(法学部)
- ・分野で異なる死の解釈(法学部)
- ・映像や音楽を用いたイベント運営(経済科学部)
- ・環境問題に配慮した企業経営や行政運営(経済科学部)
- ・環境と共生する都市づくり(経済科学部)
- ・データがつなぐお酒と社会(理学部)
- ・言語とその背景にあるもの(理学部)
- ・居心地の良い空間の創造(工学部)
- ・ICT技術を活用した発展途上国の教育システム(工学部)
- ・地域の合意形成への第1歩(工学部)
- ・国際的なファシリテーターとしてのスキルを身につける(農学部)
- ・自然再生と地域振興を結びつける(農学部)



アカデミック・アドバイザーとの面談の様子

全学分野横断創生プログラム

<https://www.iess.niigata-u.ac.jp/niceprogram/>